



KIFA Plaza

第56号

2007年（平成19年）6月25日
発行：鎌ヶ谷市国際交流協会
〒273-0195 鎌ヶ谷市初富928-744
TEL 047-445-1141（内550）
FAX 047-441-9400
<http://www.kifa.gr.jp>

日本語「日曜」教室スタート

在住外国人の学習意欲に応え、担当ボランティアも意気込む



◎学習者は7カ国、11人

外国人対象の日本語教室は、これまで火曜日の夜間のみであったが、4月8日（日）から新たに昼間の「日曜」教室が始まった。これは、KIFA会員である日本語ボランティアの献身的努力で実現したものである。

開催初日のこの日、外国人の出席者は8人。なかには、夜の火曜教室にも参加している熱心な学習者もいた。彼らはみな、毎日の仕事の疲れも忘れ、日本語ボランティアの指導で日本語の勉強に励んだ。

5月に入って、学習者は11人に増えた。その国籍は、ブラジル、バングラディッシュ、スペイン、ベトナム、スリランカ、フィリピンと7カ国に及んでいる。

◎開催を心待ちにしていた

「日曜しか休みがなく、勉強したくともできなかったから、日曜教室は本当にありがたい」「火曜の夜は、仕事帰りなので疲れ、通いきれなかった。また学習することになりました」「火曜日だけでなく、日曜日でも勉強する機会ができてうれしい。いくらでも勉強したい」

学習者たちの主な感想である。その一人、ブラジル出身のジルマルさん（44＝祖父が日本人）は家族3人で日曜教室の開催を心待ちにしていた。

「私は10年以上の日本滞在で、話は不自由なくできますが、漢字を勉強したかったからです。昨年9月に娘2人をブラジルから呼び寄せましたが、彼女らには、初歩の日常会話だけでなくカタカナ、ひらがななどの文字を教

「日曜日に勉強する機会ができてうれしい」と、日本語の勉強に励む外国人受講生たち（いずれも鎌ヶ谷市中央公民館学習室にて）

室で覚えてほしい」と、学習意欲も高まるばかりだ。

◎ボランティアは掛け持ち

KIFA日本語教室のボランティアたちは、こう語る。「口コミで日曜教室のことが伝わり、今後これに出席する外国人の学習希望者は、さらに増えることが予想されます。私たち日本語ボランティアは、火曜教室と全員掛け持ちです。鎌ヶ谷市の国際化のために、少しでもお役に立てばと、みんなで頑張っているところです」

日本語教室で勉強したい外国人のために

KIFA・日本語教室

- ☐ 場 所・鎌ヶ谷市中央公民館（新京成線初富駅そば）
- ☐ 時 間・火曜教室（毎週火曜日）19：30～21：00
日曜教室（第2、4日曜日）10：30～12：00
- ☐ 受講料・KIFA会員（火曜教室）1年40回・1000円
KIFA会員（日曜教室）1年20回・500円
非会員は1ターム10回・1000円
- ☐ 連絡先・鎌ヶ谷市国際交流協会（KIFA）事務局
- ☐ TEL 047-445-1141（内550） 平日9時～16時まで受付

鎌ケ谷市国際交流協会(KIFA)2007年度 創立20周年の記念事業促進で会員拡充を

20歳を迎える鎌ケ谷市国際交流協会(KIFA)の2007年度総会が、5月20日(日)に鎌ケ谷市総合福祉保健センター6階大会議室で開かれた。創立20周年記念事業を中心に、今後の基本方針が審議された。



酒井哲郎会長



清水聖士市長

総会は午前10時に始まった。司会は協会事務局長で市の企画政策課・海老原正博課長が担当。長南勇副会長の開会の辞に続いて、酒井哲郎会長があいさつに立った。「今年はKIFA創立20周年の節目を迎える年になります。記念式典、パーティ、記念誌の発行などの準備を進めているところです。協会運営の基本となる会員の数も若干増えてきています。これからは、とくに若い人たちの参加につながる事業にも力を入れていくつもりです」

さらに会長は、今年は鎌ケ谷市がニュージーランドのワカタネとの姉妹都市提携10周年にあたることから、11月に行われるワカタネでの式典にKIFAからも訪問団を派遣する旨を報告、会員のこれへの参加を要請した。

◇KIFAにとって重要な年

次に、来賓として清水聖士市長から祝辞をいただく。

「私もKIFAの一会員ですが、日ごろの協会のご活躍には感謝しています」と前置きして、こう語った。「今年度はKIFAにとって重要な年になります。第一に当市も定住外国人が増え、この10年間で34.5%増加しています。異文化国同士の交流の重要性も増し、通訳ボランティアの必要性も増しています。

第二に、市内を通る北総開発鉄道が成田まで延びると、当市は都心と成田の中間都市になる。外国人との接点はますます増えてくるでしょう。

この1年は、KIFA創立20周年、姉妹都市締結10周



総会資料を見ながら報告を聞く

年の記念事業や記念式典があります。市民にも大いにアピールし、行政として出来るかぎりのバックアップをしたいと思います」

鎌ケ谷市国際交流協会(KIFA)にとっては、たいへん心強いスピーチをいただいた。

◇報告通り承認可決される

続いて、就任直後の勝又勝市議会議長が来賓あいさつ。自らもKIFA家族会員の議長は、国際交流事業に果たすKIFAの日常活動を評価した。そして、役員、理事、法人・団体の紹介が行われた後、総会議長に田澤進二郎氏が指名され、議案審議に入った。

議案第1号「2006年度事業報告」が、広報委員会、交流部会、研修部会の各部長からなされた。さらに執行部から日本語ボランティア講師派遣、姉妹都市ワカタネへの成人・青少年派遣、KIFAパーティなどの報告があった。次に、第2号「2006年度収入支出決算並びにKIFA基金・留学基金収入支出決算」が会計から、「監査報告」が監事から、それぞれ報告があった。以上の議案は一括採択の結果、すべての報告が承認可決された。

◇2007年度新規事業を提案

議案第3号「2007年度事業計画(案)」については、例年の主要事業のほか、各部会の新規事業案の提案があった。具体的には、広報委員会「鎌ケ谷市国際交流協会20年史」発行、交流部会「定期的文化交流事業」立ち上げ、研修部会「日本語日曜教室」新設、執行部「姉妹都市交流」「創立20周年記念事業」などである。

続いて議案第4号として、上記各事業計画に対する収入支出予算案について会計担当者が説明。議長より一括採決の提案があり、別項のような質疑と答弁があり、その後、議案は承認された。

最後に、平田真裕美副会長の閉会の辞で終了した。

*主な質疑応答Q & A

Q: 姉妹都市ワカタネとの交流状況は?

A: 成人派遣を隔年ごとに行ってきたが、毎回応募者もあり、定着してきた。高校生の夏休みのロングステイも

2007年度 KIFA法人会員・団体会員の紹介

〈法人会員〉

東葛食品(株)
茂野製麺(株)
新和設備(株)
(有)岡田産業
皆川不動産(有)
(株)永井建設
那須設計工務(株)
鎌ケ谷造園土木(株)
学校法人 一色学園
(株)千葉銀行鎌ケ谷支店
(株)鎌ケ谷梨ワインブランデー
(株)アメリカンランゲージスクール鎌ケ谷校

〈団体会員〉

鎌ケ谷市商工会
鎌ケ谷ライオンズクラブ
鎌ケ谷青年会議所
鎌ケ谷市自治会連合協議会
鎌ケ谷市庭園業組合
県立鎌ケ谷西高等学校
鎌ケ谷市小中学校長会
鎌ケ谷市体育協会
鎌ケ谷市スカウト連絡協議会
鎌ケ谷ロータリークラブ

総会

5年前から4回派遣を実施している。今年はワカタネの高校生が鎌ヶ谷へ留学を希望しており、鎌ヶ谷高校が受け入れの予定である。両者の結びつきは年々強くなってきている。

Q: 鎌ヶ谷市国際交流協会のワカタネ交流と市の姉妹都市委員会との関係は？

A: ワカタネとの姉妹都市提携は、市・行政同士の交流であり、KIFAは民間・草の根的交流をして、相互に協力する関係になっている。(行政からの説明)

Q: 日本語教室を日曜日にも開講した経緯は？

A: これまで毎週火曜日夜に教室を開いてきたが、受講希望者から平日は仕事の関係から出られない、休日にぜひ、という要望があった。日本語教室ボランティアで検討し、日曜教室が可能だという結論に至り、試験的に第2、第4日曜日の午前に実施することにした。(1面参照)

《2007年度KIFA運営委員会メンバー》

「協会の運営に関する事項を審議する」(規約12条3項) 運営委員会は、通常月1回開かれています。本年度から委員会メンバーが一部変更されたので、新しい名簿をお知らせします。

	役 職	氏 名		役 職	氏 名
執行部	会 長	酒井 哲郎	交流部	部会長	高坂 忠雄
	副会長	長南 勇	副部会長	辰巳 澄夫	
	〃	平田真裕美	〃	中野 勲	
	会 計	定本 典子	研修部	部会長	波多野勝夫
	〃	高橋 修司	副部会長	飯田 文夫	
			〃	緒方 堅吉	
			広報委員会	委員長	林 幸治
			副委員長	竹内 雄二	
			〃	鈴木 貞夫	



KIFA2007年度事業計画

5月20日に開かれた2007年度総会において、承認・可決された主な事業計画は以下の通りです。会員の皆さまには、各事業の開催につきましては事前に文書にてご連絡します。また、実施の詳細は随時、広報紙『KIFA Plaza』及びホームページでお知らせします。

1、市内及び近郊在住の外国人との交流

- ・お花見バーベキュー (4月8日実施済、8面参照)
- ・定期的文化交流事業「アセアンをもっと知る会」(7月22日(日)。タイ、フィリピン、ベトナムの出身者に聞く)・08年2月：世界の料理教室
- ・バスツアー (9月2日(日)。日光方面)

2、語学研修講座の開催

- ・外国語講座 英語A・B、中国語、ハングルの4講座 (年間30回、開講式・閉講式含む)
- ・子ども英会話「スマイリーキッズ」(22回)
- ・英会話サロン (第1回9月、第2回08年1月)
- ・日本語教室 火曜教室40回 (毎火曜・夜) 日曜教室20回 (第2、4日曜昼)
- ・日本語ボランティア・レベルアップ講習会

3、広報活動

- ・会報「KIFA Plaza」年4回発行 (6月8頁、9月4頁、11月「KIFA創立20

年特別記念号」32頁、08年3月4頁)

・インターネット、ホームページの更新

4、海外交流事業

- ・姉妹都市ワカタネとの交流 (青少年ロングステイ派遣8月・4週間、成人派遣11月)
- ・ホームステイ、ホームビジットの受け入れ (随時)

5、派遣事業

- ・通訳ボランティア活動の促進 (研修会・要望により、通訳、翻訳する)
- ・外国人ボランティア講師派遣
- ・日本語講師・学校派遣

6、諸団体との連携、交流

- ・国際交流に関する諸団体との連携、協力
- ・東葛地区国際交流協会連絡協議会 (本年度は鎌ヶ谷市国際交流協会が幹事) 及び他市との交流

KIFA創立20周年事業

①記念式典と記念パーティ

11月18日(日=予定)：鎌ヶ谷市総合福祉保健センター

②記念講演会

2008年1月(予定)。日時、場所、講師など9月発表

③記念誌「鎌ヶ谷市国際交流協会20年史」発行

※詳細が決まり次第、会員の皆さんにお知らせします。

きびしく楽しく 93人が学ぶ

KIFA外国語講座
今年も4クラスで
開講式



壇上で紹介される講師陣

5月20日(日) 午後2時から、2007年度KIFA外国語講座の開講式が、鎌ヶ谷市総合福祉保健センター6階大会議室で行われた。

今年も英語A、英語B、中国語、ハングルの4講座(右表参照)。で、年間30回の研修授業が開かれる。開講式には応募者の中から選ばれた受講生が出席した。

波多野勝夫研修部会長は「みんな向学心に目が輝いて

います。30回休まず、ぜひ皆勤賞を取ってください」と受講生(総数93人)を激励した。07年度の特徴は、英語Aで「初めての外国旅行」とテーマ設定したことだ。

4人の講師の先生方も、きびしく楽しく教えることで、受講生が上達することを期待している。その講師のプロフィールは6面で紹介しています。

2007年度KIFA外国語講座

講座名	講 師	曜日・時間	会 場	受講生数
英語A	D・ヘネベリー	火13:00~14:30	ぬぎ山コミュニティセンター	26
英語B	J・チェネリー	木19:30~21:00	北中沢コミュニティセンター	23
中国語	范 曉耘	金10:00~11:30	南部公民館	17
ハングル	李 賢貞	水13:00~14:30	中央公民館	27

我孫子市国際交流協会

幅広い分野の交流目指す

我孫子市国際交流協会（AIRA=Abiko International Relations Association）は文化や教育、スポーツなどを通して幅広い分野で積極的に異文化交流事業に取り組み国際理解を目指している。

*組織・部会

- ・総会—理事会—役員会
- ・総務部会、広報部会、交流部会、研修部会、ボランティア部会

*年間定例のイベント・部会活動

国際交流祭り、国際交流スピーチ大会、ジャパンバードフェスティバルへの参加（ブースでの展示及び販売）、外国人のための文化講座（生け花、お料理、浴衣の着付け、健康体操など）、異文化理解講座（外国人講師による講演会）、国際交流バーベキューパーティ、国際交流バスツアー、イヤーエンドパーティ、外国語講座・5カ国20講座、委託事業（日本語教室〈火・土、計70日〉、「あびこ」の英訳、外国人相談窓口、翻訳・通訳）。「留学生が先生」アシスト（市内小中学校19校への送迎）、外国人ホームステイの受け入れ、各種イベントへの参加、書き損じはがきユネスコ募金、使用済み切手の収集、など。

【特別企画】 我孫子、柏
流山、野田（東葛地区）

流山市国際交流協会

地域に根ざした国際交流

流山市国際交流協会（NIFA=Nagareyama International Friendship Association）は市民が主体となって、国際社会の一員としての自覚を高め、世界各国の人々との友好の輪を広げ、世界の平和と繁栄に貢献することを目的としている。

*組織・部会

- ・総会—理事会—運営委員会（事業の実施、活動の調整）
- ・専門委員会—事業の企画（平成18年度の主な実施状況）
 - ①イベント委員会…国際交流祭り、国際マナー（ワインを楽しむ会）、国際交流を語る会（ウズベキスタンの留学生らのイスラム教や伝統・習慣についての話）。
 - ②国際理解・日本語委員会…外国出身者のための日本語講座を開催（授業30回、登録受講生30人、日本語講師8人）、国際交流サロン（イラン料理、絵手紙、ゴスペル、韓国料理、雅楽と舞楽、風呂敷の使い方など11回開催）。
 - ③外国語講座委員会…（初級英文法、中級英会話、日常英会話、英会話入門、中国語入門、中国語初級、スペイン語初級、スペイン語入門、韓国語入門、韓国語初級）の語学講座。延べ180回、受講生361人。
 - ④生活情報委員会…生活情報資料の作成、市内公的施設に配備（英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、スペイン

AIRA

我孫子市国際交流協会 Abiko International Relations Association

AIRAは我孫子市の国際友好と親善を推進するために設けられた任意団体であり、我孫子市民によって運営されています。

*会員拡充のための施策

- ・各イベント・講座などチラシを広く配布。
- ・市の広報誌「あびこ」にイベントなどの告知記事を掲載して広報。

会員による口コミ。

*今後、とくに力を入れていきたい課題

- ・アクティブメンバーの増強。
- ・在住外国人の会員勧誘及び日本語教室への出席。
- ・主要外国語ボランティア（日、外国人）の登録の拡大、拡充。

*広報活動

- ・会報誌「AIRA」（8ページ）年2回発行。
- ・AIRAカレンダー（イベントの告知を重視）毎月発行。
- ・ホームページは、広報部会の2人が管理し、掲載原稿などは事務局から担当者へメールで送り、担当者宅でUPしてもらう。担当者はイベントの取材後に、記事及び写真を自宅からUPする。更新の頻度は適宜。

「わが市の国



語）、ゴミの出し方、火災時の心得、医療など生活情報の提供（鳥インフルエンザに注意・英語版新規作成）。

- ⑤文化交流委員会…クリスマス、外国料理講習会、海外児童絵画交換、外国人との交流会。

- ⑥ホームステイ委員会。

*会員拡充のための施策

- ・イベント開催時にPR。
- ・市内小中学校（全児童、生徒）へ会報の配布。

*今後、とくに力を入れていきたい課題

- ・TX（つくばエクスプレス）の開通により、流入や訪問が増えるであろう外国人への情報提供など。

*広報活動

- ・会報・NIFAを年1回（A4版*8ページ）発行。
- ・NIFAニュースを年7回発行。
- ・ホームページの維持管理は外部委託、更新頻度は年数回。

柏市国際交流協会

異文化相互理解に多彩な事業

柏市国際交流協会（K I R A = Kashiwa International Relations Association）は沼南町との合併を契機に、積極的に異文化交流事業に取り組み、相互の国際理解を目指している。

* 組織・部会

- ・総会—理事会—三役会—運営委員会—専門委員会
- ・総務委員会…全体事業として、K I R Aまつり、沼南まつり参加、国際交流のつどい参加。会員交流事業として、ボウリング大会、しゃべり場、会員研修など主催する。
- ・外国語委員会…外国語教室開催や語学を通して、国際交流に関する知識を広めるための語学講座を行う。中国語入門、英会話、ハングル語、スペイン語、会話のための英語講座。
- ・日本語委員会…在住外国人のために正しい日本語を教える。（寺島教室＝月曜7クラス32回、火曜4クラス38回、木曜2クラス36回、金曜5～6クラス36回、土曜4クラス37回など。沼南教室＝毎週木曜日、2会場で計60回）。その他、校外授業、日本語ボランティアの研修会に参加。
- ・日本文化交流委員会…主な事業。①お花見会②日本昔話、紙芝居③煎茶教室④盆踊り大会⑤バスツアー⑥世界の家庭料理⑦着物着付け、サロンミーティングなど。
- ・国際理解委員会…異文化理解を深める事業を実行①エクア



人会員がサポート。①そば打ち②中国茶③多文化共生ダンス大会④いけばな実習など。

- ・学生委員会…留学生らとの相互交流を行う。

* 会員拡充のための施策

- ・新入会員へアンケートを行い入会目的などを把握する。
- ・新入会員と2カ月に1回くらいの「しゃべり場」を行い、委員会活動などを紹介する。

* 今後、とくに力を入れていきたい課題

- ・補助金が縮小される状況で、これまで通りの活動を展開していくにはどうしたらよいか。資金獲得の方法を考えるか、事業を縮小するか、会員みんなで将来の道を考えたい。

* 広報活動

- ・会報「かわら版」「ひらがなかわら版」を毎月発行。
- ・ホームページは、2人の制作スタッフを中心に、広報委員会で管理。2006年10月に日本語版、2007年2月に英語版を大改訂。以後、随時更新。

国際交流

東葛地区はTXの開通、成田新線の開通も3年後、ますます外国人と触れ合う機会がふえる。この時期、東葛地区国際交流協会連絡協議会構成市の活動の現況を学び、20周年を迎えるKIFA活動のさらなる、発展に資したい。

野田市国際交流協会

小・中学校の国際理解を支援

野田市国際交流協会（N I A = Noda International Association）は国際交流の促進並びに地域社会、市民生活の国際化の発展に寄与することを目的に活動をしている。

* 組織・部会

- ・総会—理事会—運営委員会
- ・（外国語講座部、日本語学習部、友好交流部、イベント部、総務部、事務局）

* 主な活動の内容

- ①市民の国際化の推進…小・中学校の国際理解教育の支援（年間3～4校）、講演会（外国人講師、年1回、一般公開）、外国語講座（韓国語2コース、トラベル英会話2コース、一般公募）、外国料理教室（年2回、一般公募）。
- ②在住外国人との共生…日本語教室（日・月2コース、毎週）、フレンドシップサロン（外国人との談話会、会員主体）。
- ③異文化交流…国際交流フェスティバル（年1回、一般公募）、ホームステイ（外国人留学生が10人程度、市内一般家庭に短期ホームステイする。年間1回）、野田市七夕おどりパレードへの参加（年1回、会員主体）、バスハイク（年1回、一般公募）、もちつき大会（年1回、一般公募）。

* 会員拡充のための施策

- ・イベントへの参加を呼びかけ。
- ・機関紙の公共施設（学校、公民館など）へ配布。

* 今後、とくに力を入れていきたい課題

- ・知名度の向上による会員増。

* 広報活動

- ・機関紙「ファンファーレ」A4サイズ、4ページを年3回発行。
- ・会員向け「ミニ通信」A4サイズ、4ページを年6回発行。
- ・ホームページはスタッフ5人で行事案内、行事報告など随時更新。



ご協力ありがとうございました

鎌ヶ谷市国際交流協会 広報委員会

我孫子市、柏市、流山市、野田市の国際交流協会のみなさん、この度のアンケートへのご協力、資料のご送付ありがとうございました。

お寄せいただいた回答、資料は沢山ありましたが、紙幅の関係でほんの概略しか掲載できませんでしたが、今後の交流協会のあり方、方向、イベントなどの参考にさせていただきます。なお、カット写真は、それぞれのホームページの一部を借用しました。



「外国語講座」講師4人のふるさと自慢

07年度の「外国語講座」がスタートした。各講師の略歴や人柄、考え方をすることも受講生の語学上達の必須条件だ。ここで4人のプロフィールを一挙紹介してみよう。

英語A ダニエル・ヘネベリーさん(イギリス・ノッティンガム) 「ロビン・フッド、ニュートンに、鉄の女も」

「私は大科学者のニュートンと同じ小学校で勉強しました。“鉄の女”サッチャー元首相も同じ出身地で、いずれも私の誇りであり、自慢です」

というヘネベリーさんのふるさは、イギリスのノッティンガム。ロンドンの北200キロの距離にある。中世にはロビン・フッドが活躍し、近世には詩人バイロンを輩出。現代はハイテク産業都市として有名だ。

湖水地方に近いランカスター大学卒業。以前から日本で英語を教えることを熱望、本年1月に来日した。

「日本が美しい国で、豊かな歴史のある国だと知り、憧れていました。実際にお寺や庭園を観て、日本文化

に触れる機会があり、たいへん感激しました」

趣味は、旅行とギターと読書。受講生には「教室では、いつも英語だけ話すように心がけてください」とアドバイス。



英語B ジェームズ・チェネリーさん(イギリス・ロンドン) 「ハリー・ポッターで有名な駅近くに住む」

「私もそうですが、ロンドンのボー教会の鐘が聞こえるエリア内に生まれ育った者は、生粋の“ロンドンっ子”の意味で、Cockneysと呼ばれています」

「ここでの伝統的食べ物はうなぎパイとマッシュポテト。私もパイが大好きです」

1978年生まれのチェネリーさんは、『ハリー・ポッター』の「9と3/4ホーム」で一躍人気スポットになったキングス・クロス駅近くで少年時代を過ごした。その後、ロンドンの郊外、北アイルランドに住み、大学は、ティーサイド大学に進学。コンピュータ・アニメを専攻し、日本の宮崎駿監督のアニメ作品に大いに触発され、4年前、ついに憧れの日本に来た。

「現在は鎌ヶ谷市のALT(語学補助教員)をしています。日本は住み心地がいい、買い物も便利だし。趣味は日本語です」

(『KIFA plaza54号』より抜粋)



中国語 范 曉耘さん(中国・北京)

「来年の北京五輪に向けて活気づいています」

08年のオリンピックに向け、いま北京市内は活気づいている。この中国の古都に生まれ育った范さん。

「実家は頤和園(清末の“女帝”西太后が晩年過ごした宮廷公園)の近くです。天津に通じる運河が近くを流れており、子どもの頃はここでよく水浴びをしました」

読書が好きだったので、武漢大学で図書館学を専攻し、司書の資格を取得した。卒業後は中国社会科学学院の図書館に勤め、1998年、ご主人の日本留学に伴い来日した。彼が松戸在住で、以来、千葉県と縁ができた。



「日本は住みやすく、日本人は親切で礼儀正しく、辛抱強く勤勉努力しますね」

范さんも頑張り、日本語能力検定1級に見事合格した。

「中国語の上達も、いつも声を出して話す、CDやテープを聴いて耳を慣らすことだと思います」

ハングル 李 賢貞さん(韓国・慶州)

「新羅の王都は“屋根のない美術館”」

「私のふるさと慶州は、慶尚北道の南東部にあり、古代朝鮮王朝の三国時代に新羅の王都として栄えました。静寂で美しく、遺跡や文化財も多く残っています」

“屋根のない美術館”と言われるほど歴史的建造物があり、石窟庵と仏国寺が世界遺産登録されている。

李さんは、東国大学で日本語、日本文学を専攻し、99年には、新潟大学大学院に留学のために来日。

「日本人は平和的で親切、ゆったりしています。ただ本音を言わない面があり、そういうのって、ちょっと寂しいですね。その点、韓国の人って、韓流ドラマにあるように、気持ちをストレートに出しますね」

趣味は、キムチ作り。「韓国のことに興味を持って、刺激を感じながら、楽しく学んでほしい」と、受講生に期待する。



熱心に先生の話を聞く受講生たち(開講式)

家族で体験した「草の根交流」

海外駐在員生活
川端 正征

私の海外駐在員生活は、1971年スイスに始まり、スウェーデン・ドイツ。そして昨年、定年退職するまでの中国と、計16年に及んだ。

☆牛が友だちだったスイス時代

最初の赴任地はスイスの人口6千人の寒村。そこに東洋人が住みつくのは初めてのこと。黒髪の短足人間を見るのは、村の人たちには、何とも珍しいらしい。私は毎朝、小学校の前を通り、徒歩通勤をしていた。自転車通学の児童らが、全員自転車を降り、私が通り過ぎるまで、好奇の眼で、食い入るように見ていたものだ。

住まいの周り是一片牧歌的な牧場。最初の頃は友だちといえば、牛さんだけ。毎日、牛さんに草をやっていると、珍しい東洋人ゆえか、私たちを識別し、なついてくれる。

しかし何が幸いするか分からない。生後3カ月の長男を連れての家族赴任だったが、しばらくして隣家の子どもが、我が家のドアをノック。人の子とは思えない東洋人の赤ん坊が、鼻べちゃ怪人に見えたらしく、赤ん坊に触らせてくれと言っている様子。

そしてその翌日から、大勢の子どもたちが来るようになった。言葉など全く通じないまま、我が家は託児所に早変わり。それ以来、家内はてんてこ舞いの忙しさ。どうしようもなかった寂しさなど、一挙に吹き飛び、子どもが取り持つ縁で、隣人との交流が始まった。

週末は天気である限り、赤ん坊をリュックに背負い、アルプスの山歩きを楽しんだ。

赤ん坊が6カ月になった初夏、マッターホルンの中腹の、ヒュルリーヒュッテという山小屋に、背負って行ったが、山小屋開設来の最年少の赤子が来たと、ヒュッテの中の人たちに祝福された。6月といえ雪が降り、一部はロープづたいの岩登りも無事こなし。スイスでは若さのせいで、恐いもの知らずの、あっという間の4年間だった。

☆子どもたちの教育問題

2回目の駐在はスウェーデン、ドイツでの10年間。仕事以外の最大テーマは、やはり子どもたち3人の教育問題だった。英語圏の駐在であれば、きっと別の考えもあったでしょうが、我が家の場合は小国スウェーデン。果たして子

供の教育は現地式で良いのか、日本式で行くのかと。

そこで大事なのは、家庭内での教育。家内を家庭教師に仕立て、日本から国語、社会の教材を定期的に取り寄せ、遅れを最小限に止めるべく努めた。英語教育は現地が有利。算数、理科はどこでも同じ。国語、社会科さえ遅れなければ、帰国しても、何とかなるだろうと考えた。子どもたちの日中は、慣れない現地校の生活でもうくたした。家に

帰ればまた、日本の国語の勉強で大変な日々だった。

小学6年になった長男だけは、その頃はまだ珍しかった日本からの進出校の英国・立教に送りこんだ。

結局そのまま高校まで終え、親より早く一人で日本に帰ってしまったが。今やヨーロッパには日本から数多くの学校が進出していて、寄宿舎生活が嫌いであれば、高校までは、日本と変わらぬ教育が可能である。

☆近いけれど、 疲れる中国

3回目の駐在は中国の上海で、単身赴任をした。東京から上海は沖縄と同じ距離。

日本人は出張者も含め、上海には常時10万人もいるという。日本食レストランや、日本式カラオケ屋も数え切れず、日本の衛星テレビはもちろん、新聞も同日に見ることが出来る。何の不自由もない。

昔の駐在員は水盃で送り出され、親の死に目にも会えなかったというが、今や隔世の感だ。上海など週末を利用したプライベートな行き来が茶飯事になっている。

何とも便利な時代になったものだ。しかしそれは表面上のことで、今も昔も駐在は駐在。一皮むけば海外生活は、公害問題や安全問題で、危険と緊張に直面していることには変わらない。仕事となるとなのおさらだ。中国での人事管理や代金回収の難しさはピカイチ。論理的な思考展開で対峙できるという点では、欧米の方がずっとやり易く、中国は疲れる感じ。

☆視野が広がる国際交流

それにしても国際交流は楽しいですね。閉塞感のある日本を時として離れ、旅や料理、趣味の世界でも、活動分野を国際ベースに広げれば、視野が広がり人生がより楽しくなりますね。

(市内東初富在住、KIFA会員)

スイス、スウェーデン、ドイツ、中国



スイスアルプスにて、
長男を背に毎週山歩き



中国の蘇州にて、
ガイドを挟んで妻と娘



ロンドンにて、小学6年になった長男だけは日本校に入学

お花見・バーベキュー

サクラは散らなかった——暖冬異変、3月初めから咲き始めた今年の桜。4月8日に設定した“お花見・バーベキューパーティ”。天は私たちの願いをかなえて、花びらハラハラ絶好のお花見日和を演出してくれました。

さくら舞う貝柄山公園広場には、昼前から一般市民、在住外国人ら51人（外国人12人）が参集して、それぞれが持参した食材が鉄板や網に並べられ、焼き物の匂いが辺りにただよいます。日本人の伝統行事として長い歴史をもち、歴史風物を彩ってきた“お花見”です。

この日からスタートした「日本語」日曜教室（1面参照）の受講生たちも駆けつけ、日本で初めての春を体験する、外国人の皆さんもいます。肉や野菜をつつつきながら、飲み物片手に、国際交流の花が咲きました。



We did it

「子ども英会話」教室

土曜日の子ども英会話教室「スマイリーキッズ」がスタート。6月2日（土）1回目の授業が行われました。

昨年、15回実施された「スマイリーキッズ」、受講者の父母からの強い希望で、今年度は22回の講座として行われます。

講師は昨年と同じ増田千佳先生、うち2回はジェームス先生です。「まなびいプラザ」2階研修室には元気な受講生28人（1・2年生／3年生／4・5年生の3クラス）の生徒に、各50分の授業が行われました。教室は元気な声につつまれて、楽しそうに勉強しています。

初回教室は保護者に、来年2月2日（土）までの、受講について説明会も行われました。「スマイリーキッズ」子ども英会話教室は、未来の国際交流人材を育てる語学講座として、さらに充実したものになってきました。



「アルコール飲料」の取り扱いについて

鎌ヶ谷市国際交流協会（以下KIFAと略称）は、市の方針及び社会一般の情勢を考慮の上、アルコール飲料の取り扱いについて、今後、下記のように致したいと思っておりますので、会員各位はご了承ください。5月20日記

本年度からKIFA事業に関し、公共施設で実施する行事においては、アルコール飲料の提供及び販売を行わないこととします。参加者による持ち込みも、ご遠慮願うこととします。

お知らせ

なお、公共施設以外での行事における飲酒については、自己責任の下、個人の持ち込みは常識の範囲内であれば差し支えないこととします。以上

新事務局員：6月から新しい事務局員に、三塚敏子さんが就任しました。

KIFA行事のご案内

アセアンをもっと知る会
フィリピン、タイ、ベトナム出身のお友だちを囲ん

イベントなどの詳細は会員の皆さんには別紙、直接お知らせいたします。

で、その国の地理、伝統や料理、遊びなど、日本との違いを語り合います。

日時：7月22日（日）

午後1時30分～4時

場所：中央公民館学習室

会費：会 員500円

非会員700円

参加希望者は7月13日までに、事務局に申し込み下さい。

日光方面バスツアー

初秋の日光方面、東照宮、戦場ヶ原などめぐります。

日時：9月2日（日）

参加費：昼食付き
会 員：3500円
非会員：4500円

ワカタネ訪問ツアー

ニュージーランド・ワカタネとの姉妹都市提携10周年記念行事参加と一般家庭にホームステイする体験型特別ツアーを企画しました。現地の一般家庭に滞在しながら、ニュージーの人たちと一緒に、自然を謳歌し交流を深めるツアーです。

日程：11月2日（金）～

9日（金）の8日間

費用：27万円程度

最小催行人数：15人

編集後記

紹介パーティなどがある。

本号の4～5面で東葛地区の国際交流協会の組織・事業活動について特集してみた。4つの市の協会のアンケート回答、総会資料を拝見させていただきました。港区のように、外国人がうじゃうじゃいる地区とは状況は違いますが、それぞれ皆、素晴らしい活動をされています。広報誌の作り方でも、大変勉強になりました。ご協力ありがとうございました。真似をするということではないにしても、他地区の交流協会の活動を見学したり、参加してみることが、自らの成長要素のビタミンだということを実感しています。（Y・T）

仕事で港区の虎ノ門、神谷町界隈に行っている。昼食タイムに歩いていたら、「初夏の鎌倉ハイキング、参加者募集——港区国際交流協会」というポスターを区の街頭掲示板で見た。

港区といえば、都内でも外国人ビジネスマンの多いところ。また大使館が70もあるという集中地でもある。どのような交流事業をしているのかと、ホームページを閲覧してみた。

それによると、会長は兼高かおるさん。4つの委員会と1つの相談室が活動しているという。お料理やバスツアーなどはKIFAもやっているが、さすが港区というものとして、広報委は外国大使インタビュー、交流委は大使館協力のお国